

子育て環境をさらに充実

ヤングケアラー支援・日本子育て支援大賞・臨時保育室開設

市は、子どもが健やかに育つ環境の充実を図るため、全国的にも課題となるヤングケアラーの支援に取り組む。市の調査等においてヤングケアラーと推測される子どもの割合は小学生16.6%、中学生7.4%。ケアの有無によって欠席や遅刻、早退が増加するなど学校生活にも影響が出ている恐れもあるため、「発見」「相談」「援助」の3つの段階を意識した支援を行う。また、公民連携を活用した子育て世帯サポートの取り組みが評価され、日本子育て支援大賞を関西の自治体で初受賞。待機児童対策では臨時保育室の開設を進め、市内2カ所目となる渚西臨時保育室が10月に、3カ所目が私立くずは光の子保育園(分園)内に来年4月に開設予定。子育て、子育て環境を充実させることで、子育て世帯が「暮らしが楽になるまち」づくりをさらに推進する。

★ヤングケアラーに支援を届ける

市の調査等においてヤングケアラーと推測される子どもの割合は小学生16.6%(765人/4615人)、中学生7.4%(228人/3073人)。うち、ケアの頻度が「ほぼ毎日」の人は小学生42%(324人/765人)、中学生46%(105人/228人)。ケアの有無によって欠席や遅刻、早退が増加するなど学校生活にも影響があると考えられる調査結果も出ているため、発見→相談→援助の「支援のパッケージ化」を目指す。

今年度中に新たに始める取り組みとしては、「周囲の理解」を得るための関係機関・庁内にむけた研修・啓発と「生活の支援」としてヘルパーを派遣する家事援助事業を構築する。

<問い合わせ> 子ども青少年政策課 電話 072-841-1375、FAX 072-843-2244
児童生徒支援課 電話 050-7105-8048、FAX 072-851-9335

★関西の自治体で初。日本子育て支援大賞を受賞

一般社団法人日本子育て支援協会が主催するアワードにおいて、公民連携を活用した子育て世帯サポートの取り組みが評価され、日本子育て支援大賞を受賞。関西の自治体では初。

●評価された取り組み(一例)

手ぶら登園…紙おむつのサブスクサービスを7月から全公立保育所で導入

見守り端末を全校に配布…すべての小中学校で子どもの移動履歴を確認するサービスを無料提供

<問い合わせ>

公立保育幼稚園課 電話 072-841-1473、FAX 072-841-4319

新しい学校推進室 電話 050-7105-8020、FAX 072-851-9335

日本子育て支援大賞2022



「手ぶら登園」7月から本格実施

紙おむつのサブスクサービスを全公立保育所で導入。



「見守り端末」を全校に配布

すべての小中学校で子どもの移動履歴を確認するサービスを無料提供。



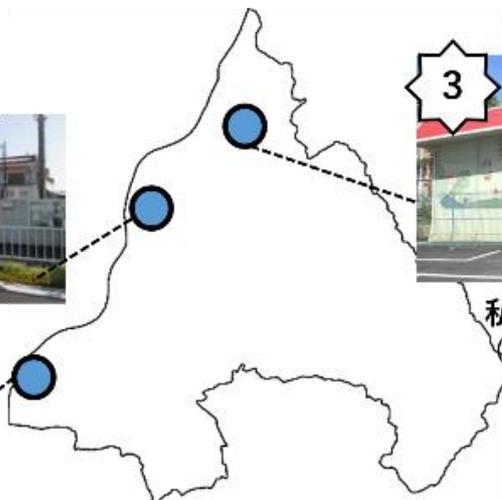
★市内2カ所目の臨時保育室がオープン。来年4月には3カ所目も。

待機児童対策として令和3年（2021年）に市の南部エリアにサダ西臨時保育室を開設。2カ所目として、10月に市の西部エリアに渚西臨時保育室を開設予定。来年4月には、北部エリアの私立くずは光の子保育園（分園）内に3カ所目を開設予定。

渚西臨時保育室
今年10月開設



サダ西臨時保育室
2021年10月開設



私立くずは光の子保育園
（分園）内に来年4月開設予定

<問い合わせ> 私立保育幼稚園課 電話 072-841-1471、FAX 072-841-4319